



時間の有効活用

サガ・コア&カッター工業株式会社

産休をきっかけに4年前から事務作業の効率化を進め、働きやすい環境の整備をおこなってきた。社内業務だけでなく、現場社員の負担も減らし、社長が描いた「10年計画」の実現に向けて全社員が進んでいけるよう、業務全体の可視化と仕組み作りを目指した。

なぜDXに取り組んだのか

10年計画を立ててあったんですよね。一年一年追うごとに、それが実現できてきて。例えば、入札案件って、その書類作りをどうするんだらうとか、全く想像もつかなかったのが、毎年こう経営審査を受け始めて、みんなそこに向かって、もうちよっと点数超えようとか、一つになっていった。私も点数を上げてもっと多くの入札に挑戦できるようにする為に、二級の経理事務士を勉強してました。ただ、日々の事務作業も忙しいところもあり、自分自身が精いっぱい、そこに向かっていないというの、ものすごくプレッシャーです。だから、事務だけ追われてたら、無理だなど、DXに取り組掛かったんで

DXの目的とは？
本事業に参加した経緯
事務所の自身の改革に最初取り組んだんですよね。現場側でもDXができないかなと思って、建設業だし、作業員が在宅でということは無理なんですけど。困っていることを解消できるように取り組めなかなと思って、それがきっかけです。

DXによる脱属人化



取締役
重松 恵美
しげまつめぐみ

脱属人化の取り組みです。私じゃなくても出来る事を増やしました。まずは、それぞれのノウハウを会社に蓄積するような仕組み作りを取り掛かりました。その為に、Googleのワークスペースのタブレットシートを使って、そのファイルで、何でも完結することが出来ます。ワンクリックで見積書・請求書・出面などすべての情報が入っていて、全部の情報を集約しました。「迷う、悩む、探す」をゼロにしたことで、新しく入社した事務員への引き継ぎもあつという間に終わり、すぐに即戦力に育ってくれます。マニュアルを見なくても、直感的にわかるぐらい簡素化させています。働き始めて、3日目ぐらいから、何か分からないことある？と聞かれて、「もういいです」と言われてしまいます。

これまでの取り組み内容を教えてください。
自分じゃないとできない仕事じゃなくて、それを誰でもできるように簡素化しちゃえばいいよねって。業務でやってる事は変わらないけど、その効率化して余った時間で勉強ができたりだとか、時間の有効活用が目的になります。

杵島郡白石町



——どのように効率化を進めましたか？

社長も現場に行つて仕事するんですよ。これまでは、終わった後、6時くらいに次の日の指示を従業員に出してたんです。そうすると、早く終わって帰ってきた人達が手持ち無沙汰なんです。指示待ちじゃなくて、スケジュールさえ見れば、明日やる事が分かって、機材の積み替えとかできるよねと、思つていて、それで今回全員でGoogleカレンダーを使つて、明日の準備をスマホを見れば出来るようにしました。最初はスケジュール管理ソフトを入れようと検討していたのですが、それが200万。操作する人間もいるし、覚えなきゃいけないし、工数が大変になるぞと思つて行つた。充分ですわね、無償でストレスもなくなりました。

DXにより得られた効果を教えてください。

仕事の取りこぼしがなくなりました。前までは社長が直接対応しないと出来なかつたんです。社長も現場に行くから、細かいやり取りが難しくなつたんですね。現場で作業をしながらの対応だったので、拾えていなかった仕事も、もしかしたらあつたかと思つた。現場に行つて、それから事務所に帰つてきて、見積書を作成する、これだと本当に仕事に支障が出ていたので、これじゃダメだと思つた。受注までの流れを細分化して、どこまでなら事務員で対応ができるか決めて、その業務を引き取つたんです。11月12月でできた35件くらい見積もりを作成したのですが、事務員で11件

活用したデジタルツールとその効果とは？

- Googleカレンダー
- Outlookアプリ (スマートフォン) 導入と活用を支援

導入効果

- ・カレンダー管理、共有をすることで、仕事の依頼への対応がリアルタイムで行えるようになり、取りこぼしが無くなった。
- ・それぞれが抱える業務の見直しを行う事ができ、見積書作成を事務員で対応するようになり、新たな仕事や相談に対して、その場で対応できるようになった。また、見積書が作れるようになったことで、閑散期に向けて仕事のストックを社長だけでなく事務員も行えるようになった。



Instagram

ペルソナの設定、投稿スケジュール、画像編集ツール (canva) 等支援

導入効果

- ・京都府の企業から新規の問い合わせがあり、実際に打合せも行って、新たな仕事に繋がった。
- ・InstagramのみならずWEB上で会社名や業務内容で検索したときに出てくるようになった。
- ・編集した画像を投稿しているため、会社のイメージアップにもつながっている。(フォロワーからの声)

8月	2月 (2/28時点)	増加率
70	835	1092%

サガ・コア&カッター工業株式会社が思い描く未来とは？

対応しました。今では、見積り対応とか、簡単な打ち合わせくらいだったら、事務員で対応ができるようになって、新しい仕事を取りこぼさずにできています。業界的に、夏場までの間の仕事をいかに取る事ができるかが大事なんですよね。ただ時間ができただけじゃなくて、分りやすい仕組みがなかったの、同じくオリエティでみんなが仕事できません。今後は、自分の方は、外に出て仕事を取つてくることが増やそうと思つてい

今後の展望

DXをやったことで色んな人に注目してもらつたり、事務員もミスがすくすく少なくなつたんですよね。同時に効率化ができて、私しかできなかった業務を誰でもできるようになりました。その時間を使って、新たな仕事を能動的に行う事ができるようになつたんです。特にSNSは、車を洗車している時間とか、スマホ一つで思いついた時にできて、会社のPRも行えています。受注競争で競つた時、選ばれた企業になりたいたい。小さくても当社にしかない価値を積み重ねていって、その先に必ず勝つていく会社になつていきたいと思つています。今後はもっと競争が激しくなると思つているんですけど、なので、県内だけの受注じゃなくて、もう少し福岡と熊本など他県にも向いて新規顧客の開拓と同時に付加価値が付くような設備投資も積極的に行っていきたくて考えています。その差別化をDXを通して、積極的な変化を行っていきながら、愛されて選ばれる企業になつていきたいと考えています。